

にゃく『近江牛カレー』でっちようかん『丁字』『びわこサイダー』など多くの産物を来庁者らに販売。市民らは足を止め、八幡商高生の説明に耳を傾けながら、品物を眺めたり手に取ったりしていた。

この日と翌日、約30人の生徒は琵琶湖のスカイブルー色に背中に『天八魂』と書いた法被姿で2・3人のグループに分かれ、常磐や神田、浅間、高嶺各区などの個人宅などを回り訪問販売を体験。販売した収益金は震災復興など社会福祉支援に寄付するという。